

YUASA REPORT

第138期

2016年4月1日から
2017年3月31日まで

138

Growing Together

ともに挑む。
「ミライ」の産業と暮らし。

住環境
Living Environment

インフラ
建築
Architecture

Contents

- 1 ユアサ商事グループのビジネスフィールド
- 3 トップメッセージ
- 5 セグメント別の概況
- 6 決算ハイライト
- 7 前中期経営計画の振り返り
～YUASA LEGACY 350～
- 8 ユアサビジョン360
[9年後(創業360周年)のビジョン]
- 9 新中期経営計画
Growing Together 2020
- 10 「コア事業の機能強化」について
- 11 「成長事業の再強化」について
 - 海外事業
 - ロボ(AI) & IoT事業
- 12
 - 新流通事業
 - 環境・エネルギーソリューション事業
 - レジリエンス&セキュリティ事業
- 13 主要連結財務データ
- 14 会社概要/株式情報



ユアサ商事株式会社

証券コード：8074

ユアサ商事グループは日本からアジアへ、ともに「産業とくらし」の未来に挑戦します。

機械と住宅の複合型専門商社としてアジアの産業とくらしを豊かにする流通基盤の構築を目指してまいりました。
「海外」、「ロボ(AI) & IoT」、「新流通」、「環境・エネルギーソリューション」、「レジリエンス&セキュリティ」を成長市場と捉え、日々変化するアジアの現場とともに、次代の新潮流創造のためのイノベーションに挑戦してまいります。

Growing Together
ともに挑む。

新中期経営計画

2026年の創業360周年を見据えた「ユアサビジョン360」実現のための第1ステージとして、2017年4月から2020年3月までの3カ年を対象とする中期経営計画「Growing Together 2020」を策定いたしました。コア事業と成長事業の双方で稼ぐ収益構造への改革にチャレンジいたします。

詳細については **P.9-12**へ

産業機器部門

「モノづくり」を独自のIT&ロジスティクス・ネットワークで支えます。



日本の「モノづくり」を支える切削工具・制御機器・測定機器、マテハン機器を、全国に広がるIT&ロジスティクス・ネットワークによりスピーディーに供給いたします。

住設・管材・空調部門

エコエンジニアリング機能の発揮によりスマート社会を実現します。



独自のエコエンジニアリング機能をベースに創エネ機器、住設・管材機器、空調機器をトータルに提供いたします。

工業機械部門

最先端技術で世界の「モノづくり」を支えます。



工作機械業界のマーケット・リーダーとして、国内トップメーカーの機械設備に独自のエンジニアリング機能を付加し、世界の「モノづくり」を支えてまいります。

エネルギー部門

スマート&低炭素社会時代に相応しいエネルギーの安定供給を実現します。



エネルギーの安定供給を命題に、各種産業用燃料、船舶用燃料、民生用燃料の販売を行うとともに、スマート社会実現に向けた省エネ・省コスト提案を行っております。

その他部門(消費財・木材)

ライフスタイルや産業の多様化に合わせて、新しい産業とくらしのカタチをご提案します。

ライフスタイルや産業の変化による製品ニーズの多様化に柔軟に対応し、季節家電や生活・調理家電等の消費財の開発・輸入・販売、木材・製材品の輸入・販売を通じて、新しいくらしのカタチを創出いたします。



建築・エクステリア部門

快適で強くしなやかな都市空間を創造します。



快適で強くしなやかな都市空間の創造に向け、ビルやマンション向けの建築資材や公園・道路・橋梁向けの景観・土木資材を積算から施工まで一貫してサポートいたします。

建設機械部門

時代が求める最新鋭の産業用レンタル商材を提案します。



道路舗装や土木工事に必要な産業機械・資材の提供とともに、時代が求める「高効率」「安全」「省力化」「環境保護」「BCP」の視点で産業用レンタル商材を提案いたします。

産業機器部門

- 切削工具
- 制御機器
- 梱包・包装機器
- MRO
- 測定機器
- 伝導機器
- マテハン機器
- ユーティリティ機器
- 作業工具
- ロボット

工業機械部門

- 工作機械
- 成形加工機
- 鍛圧・板金機械
- ソフトウェア
- 鋼材加工機
- 産業用ロボット

住設・管材・空調部門

- 水廻り住設機器
- 冷暖房機器
- 給湯器
- 省エネコンサルティング
- バルブ
- ポンプ
- エネルギー管理システム
- 管・継手
- パンプ
- 照明
- 蓄電池

建築・エクステリア部門

- エクステリア
- 建築金物
- 土木道路資材
- 外構資材
- 土木道路資材
- 景観資材
- 金属建材

建設機械部門

- 土木・建築・道路機械
- 建設小型機器
- 仮設ハウス
- 動力源
- 溶接機
- 仮設ハウス
- パワーアシストスーツ
- 発電機
- 水中ポンプ
- 高所作業車

エネルギー部門

- 石油製品
- 民生用燃料
- 産業用燃料
- 船舶用燃料

その他部門

- 扇風機
- 加湿器
- 調理家電
- コタツ
- 木材製品



業界トップレベルの収益構造を持つ 専門商社グループへと成長します。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました田村博之でございます。ここに第138期「YUASA REPORT」をお届けするにあたり、株主の皆さまに謹んでご挨拶申し上げます。

当社グループは、本年4月から新中期経営計画「Growing Together 2020」をスタートさせました。この計画の完遂と業界トップレベルの収益構造を持つ専門商社グループへの成長を目指し、全力を尽くしてまいります。

2017年3月期 経営成績

売上高	446,335 百万円 前期比 1.0%増	↑
営業利益	10,923 百万円 前期比 5.5%増	↑
経常利益	11,704 百万円 前期比 6.0%増	↑
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,777 百万円 前期比 8.2%増	↑

当期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)は、前中期経営計画「YUASA LEGACY 350」**Pick up!**の最終年度として、「グローバル強化」[国内成長分野の開拓][プラットフォームの機能強化]を軸とし、成長3事業(海外・環境エネルギー・国土強靱化対応)の拡大及び経営基盤の強化に全社一丸となって取り組みました。

この結果、当期の連結売上高は4,463億35百万円(前期比1.0%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は109億23百万円(前期比5.5%増)、経常利益は117億4百万円(前期比6.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は77億77百万円(前期比8.2%増)となり、増収増益となりました。

利益面では業績予想を上回るとともに、過去最高益を更新いたしました。さらに、前中期経営計画の中でも大きな目標としておりました連結経常利益100億円の常態化も達成することができ、今期からの新中期経営計画を推進する上で、重要な基礎を築くことができたと考えております。

当社グループは、9年後の2026年(創業360周

年)のあるべき姿として、業界トップレベルの収益構造を持つ専門商社グループに成長することを目指す「ユアサビジョン360」**Pick up!**を策定し、2026年3月期の連結売上高6,000億円、連結経常利益200億円を目標に挑戦を開始いたしました。

「ユアサビジョン360」は、実現までの道のりを3つのステージに分けて推進してまいります。その第1ステージとなる3カ年の新中期経営計画「Growing Together 2020」**Pick up!**では、「コア事業の機能強化」「成長事業の再強化」「経営基盤の強化」を基本方針に、エンジニアリング機能とロジスティクス機能をさらに強化するとともに、業界トップレベルの商品検索サイトによる情報発信機能を強化いたします。また、グローバル成長を目指す「海外事業」,[ロボ(AI) & IoT事業]や電子商取引拡大に対応する「新流通事業」,[環境・エネルギーソリューション事業],[レジリエンス&セキュリティ事業]の5分野を成長事業として育成・強化してまいります。

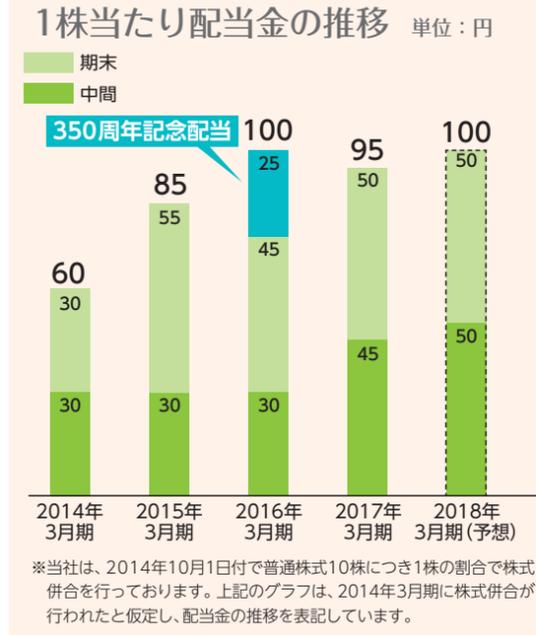
計画実現に向けましては、当期純利益の1/3を成長分野への年間投資枠として設定し推進してまいります。加えて、人材育成や多様な人材活用(女

性活躍推進)、情報インフラ整備、財務の健全性向上、内部統制機能強化などに取り組んでまいります。また、進捗状況や事業環境の変化に応じて、第2ステージや第3ステージにて新たな成長戦略の追加を含めたローリング(見直し)を行ってまいります。

2017年3月期の配当につきましては、期初の予定どおり期末配当金を50円とし、中間配当金45円と合わせた年間配当金を1株当たり95円とさせていただきます。

また、新中期経営計画では、連結株主還元率33%以上を目指す計画といたしました。初年度の2018年3月期におきましては、年間配当金100円、株主還元率27.5%を予定しております。継続的かつ安定的な配当実現に向け、全力で取り組む所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒相変わりがせぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



Pick up!

「YUASA LEGACY 350」の振り返り

詳しくはP.7に掲載。



「ユアサビジョン360」

詳しくはP.8に掲載。



「Growing Together 2020」

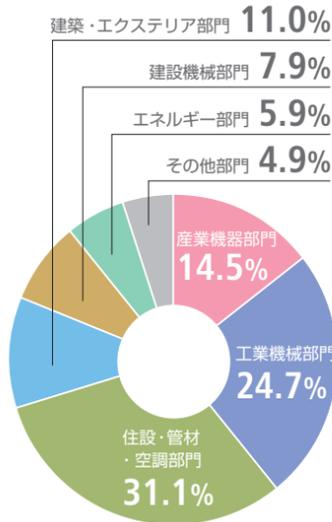
詳しくはP.9-12に掲載。



代表取締役社長
田村博之

セグメント別の概況

■セグメント別売上高構成比



産業機器部門

売上高 **646億55百万円** 前期比 2.4%増

- 自動車関連産業や航空機関連産業、半導体関連産業を中心に、切削工具、測定器具、制御機器などの需要が堅調に推移。
- コンプレッサや制御関連機器などの環境・省エネ、安全に配慮した商品の拡充、マテハン関連機器、ロボット装置、工作機械周辺機器の販売強化や、物流サービス向上に注力。

工業機械部門

売上高 **1,101億16百万円** 前期比 5.7%減

- メキシコ市場の設備投資需要は堅調に推移。中国や東南アジア諸国においても一部に回復の動き。
- 好調な半導体関連産業向けや、堅調な自動車関連産業・航空機関連産業向けの工作機械販売に注力。工場の自動化、環境・省エネ・省コストの提案営業力を強化。海外市場の営業基盤強化にも取り組む。

住設・管材・空調部門

売上高 **1,390億58百万円** 前期比 8.7%増

- 住宅設備機器や管材・空調商品の販売は堅調に推移。新エネルギー関連商品では蓄電池・パワーコンディショナ等、太陽光発電システム周辺機器を拡販。
- ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)のパッケージ提案に努め、省エネ性能の高い空調機器の販売に注力。

建築・エクステリア部門

売上高 **490億2百万円** 前期比 2.7%増

- 住宅エクステリア関連製品やビル・マンション向けの金属建材製品は底堅く推移。公共事業は減少傾向で、鋼製フェンス・防護柵など土木・道路関連資材は足踏み状態。
- 戸建住宅向け機能門柱や金属パネルなどの建築商材、防災倉庫や耐震・免震材などのレジリエンス製品を拡販。

建設機械部門

売上高 **351億56百万円** 前期比 1.1%増

- レンタル機械稼働率や新規設備投資は、期の後半に回復の動き。海外向け中古建設機械オークション事業は、商品の拡充に注力。
- 国内では国土強靱化に対応した取扱商品の拡充や、土木・舗装機械、高所作業車などを拡販。海外では、東南アジア向け建設機械の販売に注力。

エネルギー部門

売上高 **263億3百万円** 前期比 7.7%減

- ガソリン価格等に一部回復傾向はみられたものの、依然として石油製品の価格は低水準で推移。
- 一般石油製品・潤滑油の新規開拓・拡販や新商材の販売に注力。

その他部門

売上高 **220億42百万円** 前期比 5.2%減

- 消費財事業では、主力のコタツなどの冬物季節家電の販売が低迷するなか、調理家電や照明機器などプライベートブランド商品の拡販に注力。
- 木材事業では、非住宅用向けにインドネシアからの合板の輸入販売やベトナム・中国からの木質梱包材の輸入販売に注力。

決算ハイライト

Point 2017年3月期 決算のポイント

1 売上高

海外事業、環境エネルギー事業、国土強靱化対応事業の強化や経営基盤強化などの諸施策を推進し、売上高は前年同期比1.0%の増収となりました。

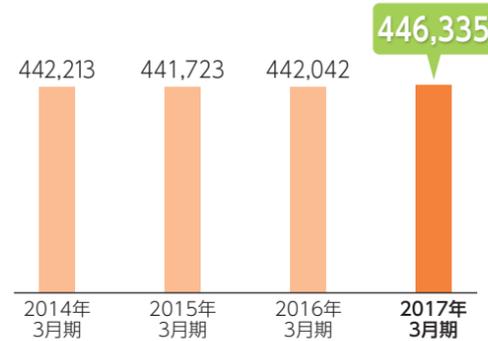
2 配当金

1株当たりの期末配当金は、期初の予想どおり1株当たり50円、中間配当金と合わせた年間配当金は95円とさせていただきます。連結での株主還元率は27.0%となります。

3 自己資本比率

中期経営計画で主要経営指標として掲げる自己資本比率は前年の28.0%から29.6%となりました。

■売上高 [単位 百万円]



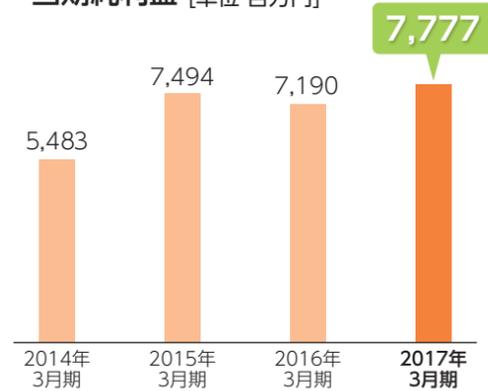
■営業利益 [単位 百万円]



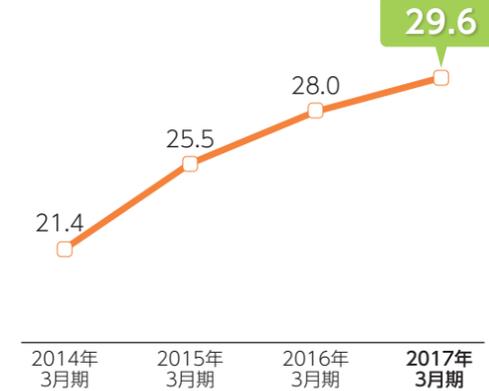
■経常利益 [単位 百万円]



■親会社株主に帰属する当期純利益 [単位 百万円]



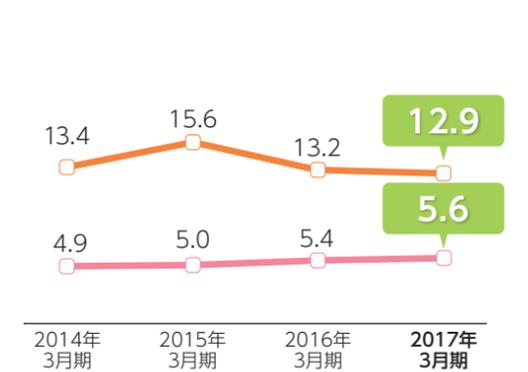
■自己資本比率 [単位 %]



■ROE(自己資本当期純利益率) [単位 %]



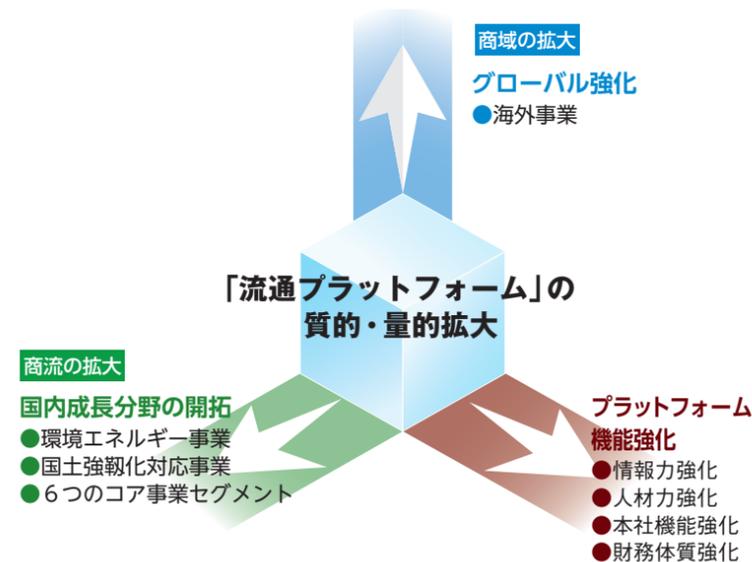
■ROA(総資産経常利益率) [単位 %]



※過去の実績は、会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値を記載しております。

前中期経営計画の振り返り～YUASA LEGACY 350～

3つの軸を拡大し、アジア最大級の「産業とくらしの流通プラットフォーム」の構築を目指し、諸施策を実行いたしました。さらなる競争優位のポジションを確立すると同時に、大きな目標といたしておりました「連結経常利益額100億円以上の常態化」を達成することができました。



定量実績

成長分野（海外、環境エネルギー、国土強靱化）を伸ばしながら経営効率の向上&財務体質の強化

	2015.3 実績	2016.3 実績	2017.3 実績
連結売上高	4,417億円	4,420億円	4,463億円
連結経常利益	103億円	110億円	117億円
連結経常利益率	2.3%	2.5%	2.6%
連結当期純利益	74億円	71億円	77億円
R O E	15.6%	13.2%	12.9%
自己資本比率	25.5%	28.0%	29.6%
連結株主還元率	24.9%	30.6%	27.0%

「YUASA LEGACY 350」主な取り組み実績

コア事業強化 3社をグループ会社化

コア事業強化に向け、3社を完全子会社化いたしました。住設・管材・空調部門、建築・エクステリア部門の収益拡大とエンジニアリング機能の強化を実現いたしました。

● 友工商事株式会社

事業内容 住宅設備機器、管工機材、建築資材の販売・施工

● 東洋産業株式会社

事業内容 防護柵、フェンス、門扉、防球ネット、シェルター、アルミ柵、ステンレス柵、高欄、車止、公園資材等の販売・施工

● 浦安工業株式会社

事業内容 冷暖房空気調和設備の設計施工、給排水衛生設備の設計施工、防災設備の設計施工他

経営基盤強化 「ユアサ商事関東物流センター」が稼働

ロジスティクス機能強化として、関東圏3カ所に分散しておりました物流拠点を千葉県柏市の「ユアサ商事関東物流センター」に統合し、2016年5月から稼働いたしております。



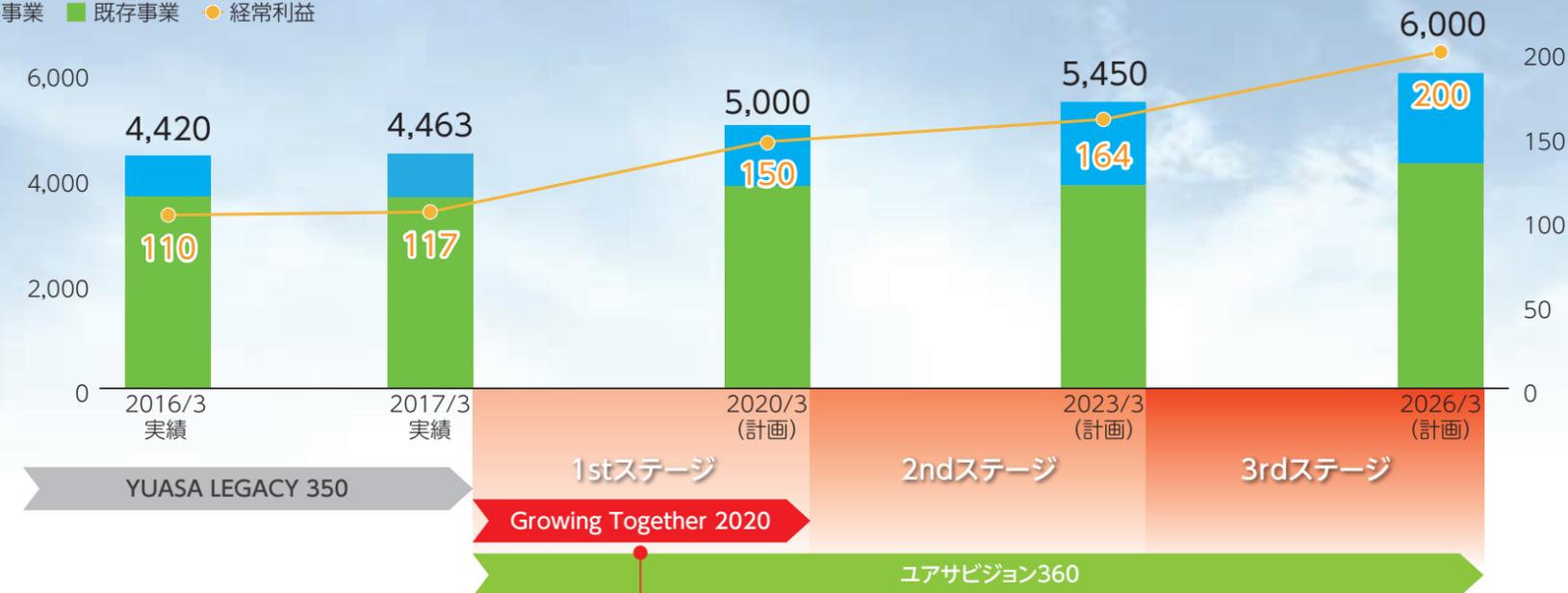
全国規模で物流サービスの向上に着手してまいります。

ユアサビジョン360 [9年後(創業360周年)のビジョン]

業界トップレベルの収益構造を持つ専門商社グループへの成長を目指します。

「ユアサビジョン360」売上高・経常利益計画(単位:億円)

■ 成長事業 ■ 既存事業 ● 経常利益



定量目標 (連結)

定量目標	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	2020年3月期 計画	2026年3月期 計画
売上高	4,463億円	4,650億円	5,000億円	6,000億円
営業利益	109億円	113億円	142億円	—
営業利益率	2.4%	2.4%	2.8%	—
経常利益	117億円	120億円	150億円	200億円
当期純利益	77億円	80億円	100億円	—
R O E	12.9%	—	12.2%	11.7%
株主還元率	27.0%	27.5%	33.0%以上	33.0%以上

- 創業360周年をむかえる9年後を見据えたビジョンを策定し、「ユアサビジョン360」と名づけました。
- 「ユアサビジョン360」達成までの道のりを3つのステージに分けて推進。その第1ステージが、今回の新3カ年の中期経営計画である「Growing Together 2020」となります。
- 定量目標としては、2026年3月期に連結売上高6,000億円、連結経常利益200億円を目指します。
- 進捗状況や事業環境の変化に応じて、第2ステージや第3ステージにて新たな成長戦略の追加を含めローリング(見直し)をいたします。

Growing Together 2020

Growing Together
ともに挑む。

「機能強化」と「成長事業の再強化」を追求し、
コア事業と成長事業の双方で稼ぐ収益構造への改革を目指します。

基本方針

ありたい姿

お取引先様と「ともに」成長分野・事業を開拓し、「ともに」成長する

① コア事業の機能強化

既存機能の強化

- 【エンジニアリング機能】
自動化ライン対応力強化に向けたエンジニアリング機能強化
当社グループで対応できる工事種別のフルラインナップ化
- 【ロジスティクス機能】
ITを活用したロジスティクス機能の全国展開

新機能の開発

- 【情報発信機能】
業界トップレベルの商品検索サイトによる商品情報の発信

詳しくはP.10に掲載 ▶▶

② 成長事業の再強化

グローバル成長

- 【東南アジア&米国】生産財販売事業でのシェア拡大
- 【中国】自動化ライン対応力強化
- 【東南アジア】環境エンジニアリング事業強化
- 【東南アジア】建機販売事業強化

国内成長分野の開拓

- 【ロボ(AI)&IoT】SI^(※1)機能を発揮
- 【新流通】販売先様との電子商取引事業の拡大
- 【環境・エネルギーソリューション】ZEH^(※2)分野に注力
- 【レジリエンス&セキュリティ】
セキュリティ&社会インフラ分野に注力

(※1) システム・インテグレーション
(※2) ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

詳しくはP.11-12に掲載 ▶▶



③ 経営基盤の強化

- 人材育成：次期マネジメント人材の選抜・採用・育成強化／
あるべき「働き方改革」の実行、多様な人材活用(女性活躍推進)
- 情報インフラ：業務の効率化と生産性向上のための情報インフラ整備
- 自己資本比率のさらなる充実 ● 内部統制機能のさらなる強化

▶▶ ① 「コア事業の機能強化」について

各事業において業界No.1のマーケットポジションを目指し、収益力を強化します。

工業分野

産業機器部門

新情報&物流インフラを活用した「切削工具」「制御・測定機器」「物流機器」
分野の拡大。

工業機械部門

- 国内・海外での工作機械商社No.1の地位確立。
- 航空機分野や海外事業、ロボ&IoT事業にも注力。



住環境分野

「新エネルギー」分野の拡大と「住設」「管材」「空調」分野の収益力強化。

- 新エネルギー事業：EMS(エネルギー管理システム)を活用した
環境ソリューション事業、環境エンジニアリング事業
の東南アジア展開
- 住設事業：ZEHとのセット提案による水回り商材の販売拡大
- 管材事業：物流機能と仕入れの強化により地域No.1シェアを確保
- 空調事業：エンジニアリング機能&メンテナンス機能の強化



建設分野

建築・エクステリア部門

- 住宅エクステリア分野のシェア拡大と建築商材の拡充、スペックイン機
能の強化により、エクステリア商社No.1の地位確立。

建設機械部門

- 全国YRA会員様を中心とするレンタル会社
への販売シェア拡大、産業用レンタル商材
の拡充、中古機械オークション事業による
中古市場シェア拡大による、建設機械商社
No.1の地位確立。



エネルギー部門

- 新分野の開拓とSS子会社の強化により収益力の高い事業体を築く。

新事業領域への挑戦

さらなる成長事業の発掘・育成に向け、コア事業領域(工業分野、住環境分
野、建設分野)を核に「新商品・新機能・M&A」を活用し新事業領域を開拓
します。

- 従来のコア事業領域を核に新事業
領域の開拓に日常的に取り組む
- M&Aを重要な手段の一つと位置
づける
- 「変革と実行」の企業風土を再醸
成する(新事業提案制度)



創発マインドを活性化するため、通常業務
から離れ研修施設にて開催したビジネスブ
ラン立案合宿研修の様子

》② 「成長事業の再強化」について

海外事業

東南アジア・北米エリアでの
新商品&新機能展開により、
生産財の輸出事業を拡大します。

● 工業分野 (輸出)

東南アジアや米国で、生産自動化
ラインの提案を強化し、生産財販
売のシェアを拡大。



● 建設分野 (輸出)

マレーシア現地法人を核に、東南
アジアでの産業用レンタル商材を
拡充。



● 環境分野 (輸出)

2016年にタイに新設したエンジ
ニアリング会社を核に、東南アジアで
の環境エンジニアリング事業を推進。



ロボ (AI) & IoT 事業

システムインテグレーション機能*を持ったロボ
ットエンジニアリング体制をさらに強化し、各分野に
おいて提案営業を展開します。

* 産業用ロボットを周辺機器や生産設備と組み合わせて統合すること

● 工業分野

2016年に設立したロボットエ
ンジニアリング株式会社を核に、
工場の自動化支援を推進。



● 建設分野

パワーアシストスーツや、掃除ロボ
ットなど、より人間らしい仕事や生
活を実現する新商品提案に注力。



新流通事業

ITを活用した情報発信機能を
強化し、販売先様との電子商取引
(Web Yours) 事業を拡大します。

● 電子商取引 (Web Yours) 事業

当社の電子商取引システム「Web Yours」
により、パソコンから在庫・価格検索、発注が
簡単に。



● 2018年5月開設予定の商品検索サイトにより、
電子商取引システム (Web Yours) と連携をさ
せ、トレードビジネスを強化。

環境・エネルギー ソリューション事業

地球環境に貢献する機器やシス
テムを国内外に販売・普及させ、
環境事業を強力に推進します。

● 住環境分野

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH(ゼッチ))
の普及に向け、当社の幅広い商品群を活用し、オリ
ジナルパッケージプランの
提案を行うとともに、全国の
ホームビルダー様や工務店
様の販売促進を支援。



● 工業分野

困いが必要なく、工場などの清浄空間が必要な場所に
簡単に設置ができる次世代のクリーンベンチ。工場内
の環境改善やエネルギーの
使用合理化に貢献する設備・
機器のシステム販売を推進。



レジリエンス& セキュリティ事業

「レジリエンス&セキュリティ」のソリュー
ション営業を展開し、事業活動を通じて安
全・安心な社会インフラ作りに貢献します。

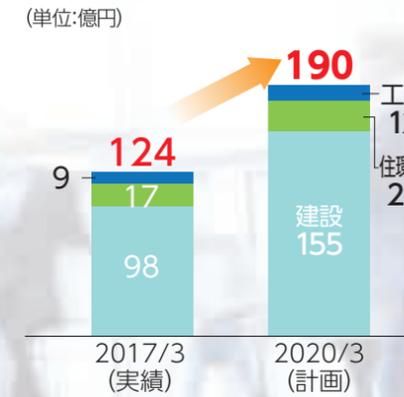
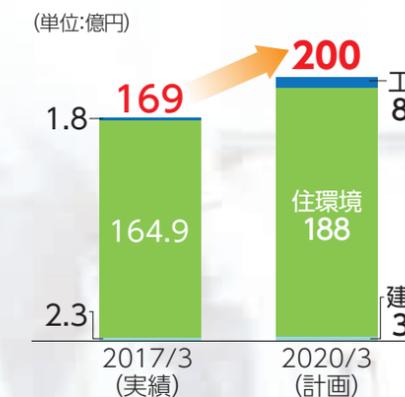
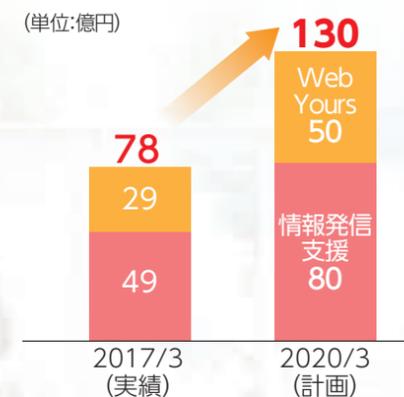
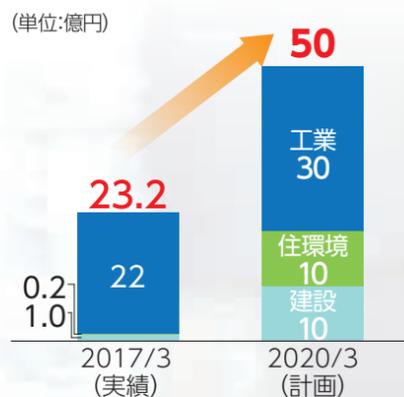
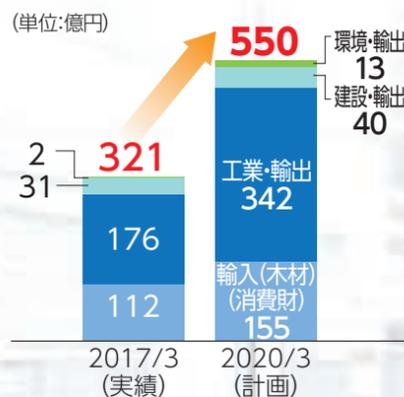
● 建設分野

防災倉庫と備蓄品のパッケージ提案事例。災害な
どの緊急事態が発生した
場合のBCP (事業継続計
画) 対策として、蓄電池や
発電機、耐震補強商材の
提案を推進。



● 工業分野

X線を利用した異物検査機。
セキュリティ対策として、各種
検査装置、監視カメラシス
テム、データ管理システムの
提案を推進。



主要連結財務データ

科 目	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年3月期 (通期計画)
経営成績 (百万円)					
売上高	442,213	441,723	442,042	446,335	465,000
営業利益	9,518	9,815	10,357	10,923	11,330
経常利益	9,782	10,353	11,039	11,704	12,000
親会社株主に帰属する当期純利益	5,483	7,494	7,190	7,777	8,040
財務状況 (百万円)					
総資産	205,669	204,897	202,891	216,984	—
純資産	45,146	52,684	57,307	64,844	—
キャッシュ・フロー (百万円)					
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,414	12,476	9,114	11,908	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△880	3,550	△589	△3,652	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,790	△11,810	△8,982	△5,501	—
現金及び現金同等物の期末残高	26,470	31,031	30,436	33,239	—
1株当たりデータ (円) ※1					
1株当たり当期純利益	250.78	340.82	326.27	352.45	364.18
1株当たり純資産	2,010.64	2,369.99	2,573.88	2,910.02	—
1株当たり配当金 (年間)	60	85	100	95	100
主要経営指標 (%)					
ROA (総資産経常利益率)	4.9	5.0	5.4	5.6	—
ROE (自己資本当期純利益率)	13.4	15.6	13.2	12.9	—
自己資本比率	21.4	25.5	28.0	29.6	—
株主還元率	23.9	24.9	30.6	27.0	27.5

※1 過去の実績は、会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値を記載しております。

会社概要 / 株式情報

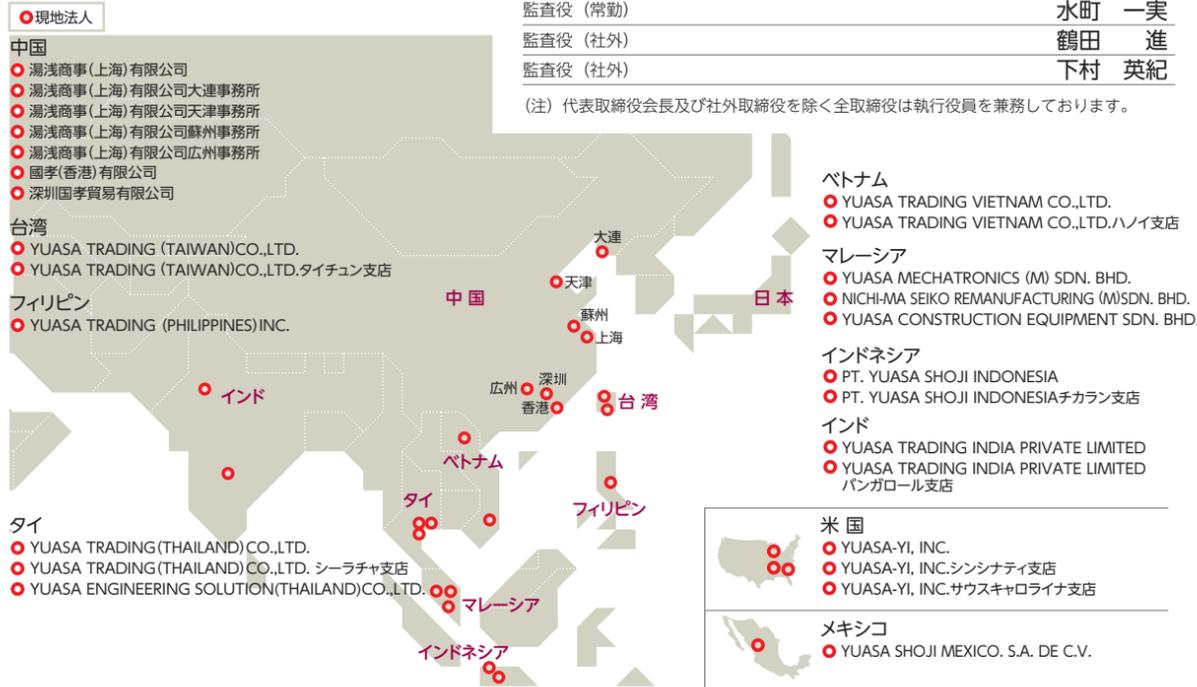
○ 会社概要 (2017年3月31日現在)

商 号 ユアサ商事株式会社
YUASA TRADING CO.,LTD.
本 社 東京都千代田区神田美土代町7番地
創 業 1666年(寛文6年)3月
設 立 1919年(大正8年)6月25日
資 本 金 20,644百万円
従業員数 1,955名(連結) 896名(単体)

○ 取締役及び監査役 (2017年6月23日現在)

代表取締役会長 佐藤 悦郎
代表取締役社長 田村 博之
常務取締役 経営管理部門統括 兼 地域・グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長 佐野木晴生
常務取締役 住環境マーケット事業本部長 兼 建設事業統括 兼 東部住環境本部長 田中 謙一
取締役 住環境グループ管掌 兼 建設事業管掌 兼 ユアサプライムス㈱代表取締役会長 兼 (株)サンエイ代表取締役会長 兼 フシマン商事㈱代表取締役会長 兼 友工商事㈱代表取締役会長 兼 (株)マルボン代表取締役会長 兼 ユアサクオビス㈱代表取締役会長 兼 浦安工業㈱代表取締役会長 白井 良一
取締役 工業マーケット事業本部長 兼 海外事業推進担当 兼 (株)国興代表取締役会長 高知尾敏之
取締役 建設マーケット事業本部長 兼 ユアサマクロス㈱代表取締役会長 兼 東洋産業㈱代表取締役会長 鈴木 道広
取締役 経営管理部門副統括 兼 総合企画部長 兼 営業支援室長 兼 IT基盤推進室長 高橋 宣善
取締役 (社外) 前田 新造
取締役 (社外) 灰本 栄三
監査役 (常勤) 宮崎 明夫
監査役 (常勤) 水町 一実
監査役 (社外) 鶴田 進
監査役 (社外) 下村 英紀

○ グローバルネットワーク (2017年6月23日現在)



○ 株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 40,000,000株
発行済株式総数…………… 23,155,882株
(自己株式1,079,034株を含む)
株主数…………… 8,659名

○ 大株主 (上位10名) (2017年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,380	10.78
ユアサ炭協持株会	764	3.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	703	3.18
株式会社三井住友銀行	594	2.69
西部ユアサやまざみ持株会	590	2.67
DMG森精機株式会社	584	2.64
東部ユアサやまざみ持株会	565	2.56
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	479	2.17
ダイキン工業株式会社	452	2.04
ユアサ商事社員持株会	448	2.02

1.千株未満は切り捨てて表示しております。
2.持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
3.当社は自己株式1,079千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
4.上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2,380千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 703千株



お知らせ

産業とくらしの グランドフェア2017

当社の販売先様の会である「やまずみ会」が主催し、仕入先様の会である「炭協会」が協賛で開催される展示会「グランドフェア」は、今年で40回目を迎えます。キャンペーンテーマを『Growing Together とともに挑む。『ミライ』の産業とくらし。』とし、全国5カ所で開催いたします。おかげさまをもちまして、受注高、ご来場者数ともに年々伸長を続けており、今年は5会場合計での受注高目標1,215億円、ご来場者数目標66,000名の達成を目指してまいります。

地域	日程	会場
関東	7月7日(金)～7月8日(土)	幕張メッセ(千葉県)
東北	7月21日(金)～7月22日(土)	夢メッセみやぎ(宮城県)
中部	9月1日(金)～9月2日(土)	ポートメッセなごや(愛知県)
九州	9月8日(金)～9月9日(土)	マリンメッセ福岡(福岡県)
関西	9月15日(金)～9月16日(土)	インテックス大阪(大阪府)



受注高と来場者数の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.yuasa.co.jp/ir/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

トピックス

1 若手女子プロゴルファーの活躍を応援します。

LPGA(一般社団法人日本女子プロゴルフ協会)所属の、蛭田みな美プロ、田辺ひかりプロの2選手と、スポンサー契約を締結いたしました。若手アスリートの育成・支援を通じたスポーツ振興を目的に、2名の挑戦をサポートしてまいります。



蛭田みな美プロ(上段)、田辺ひかりプロ(下段)▶

2 創業350周年を記念して、 京都伏見稲荷に鳥居を奉納いたしました。

2016年10月、創業350周年を記念して、当社の守護神「炭寿稲荷」の祭神である伏見稲荷大社(京都市伏見区)に鳥居を奉納いたしました。



京都市伏見稲荷大社の千本鳥居の手前の命婦参道入り口から57本目▶



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。